

□ 塩野義製薬油日ラボラトリーズ □

滋賀県の東南部、三重県と県境を接した滋賀県甲賀郡甲賀町五反田にシオノギ製薬KK.油日ラボラトリーズがある。終戦後の昭和20年に最初、油日農場として開設されたが、当時は山林であり、しかも弱酸性のクロボク土壤であったので、開墾したものの作物は満足にとれず、土壌改良を重ねてようやく種々の作物や薬用植物の栽培が可能となった。

昭和42年には実験動物の育成生産施設も建設され、動物薬品・植物薬品（農薬）の実験室の整備とともに、名称も油日農場から油日ラボラトリーズに改称された。

現在の敷地面積は主な研究施設のある五反田地域が約36ha、圃場試験の可能な武蔵山地域が約24haであり、計60haをしめている。

油日ラボラトリーズは名前の通り、多くのラボラトリーにより形成されており、疾患モデル動物の育成や無菌動物、SPFマウスやラットの他、ビーグル犬や猫、モルモットなどの飼育繁殖を行なう実験動物育成部門、ニワトリや他の家畜類の疾病に対するワクチンを含む薬剤を研究、開発する動物薬部門と農薬関係の部門が

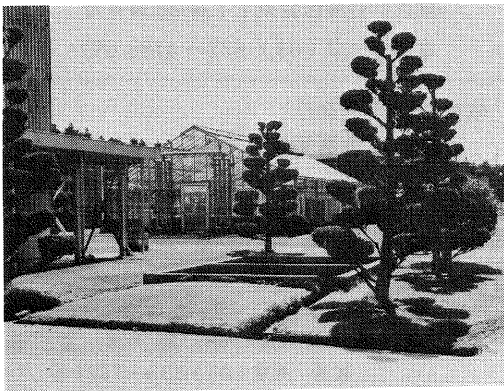
主たるものである。

農薬関連の研究は殺虫剤、除草剤、植物調節剤、殺菌剤や殺線虫剤などの開発を目標としている。組織としてはスクリーニングおよび活性物質を圃場において実用性や有効性を評価する植物薬部門、スクリーニングに供試する化合物を合成、研究する有機合成部門、さらに、化合物に適した製剤処方を確立し、試製剤を調整したり、植物・土壌や動物体における残留分析、マウスやラットに対する毒性を確認し、また、化合物の代謝や作用性を解明する諸部門がある。

また、社会の要求する農薬の条件を常に把握し、ニーズに合った研究開発を進めるのに必要で正確な情報を入手するためオンライン検索を進めている。

これらの各部門の保有する実験機器類は走査型および透過型電頭をはじめとして分析機器等十分に整備されている。これらの機器類を利用し、生物・合成・生化学など有機的つながりの中で研究開発を精力的に進めている。

シオノギでは技術普及について直接に多くの使用農家と接触し、その満足度を確認するという方針をとっているため、現場から種々問題点が上ってくる。これらを踏まえて、油日ラボラトリーズでは自社内で小～中規模の圃場試験が常時できるように、約10haを費し、果樹園・



水田・畑地・芝地・雑草園や線虫圃場など整備している。そして、上市薬剤はもちろんのこと開発中の薬剤および活性質などを開発部や営業関係と協力しながら、農家に密着した研究活動を行っている。

農薬が農業生産に果す役割は極めて大で、新農薬の開発メリットは非常に高いが、我が国の農業の現状および業界をとりまく一般社会状況は極めて厳しく、安全性の面からもその開発は仲々困難である。シオノギでは当初は導入品に開発剤を依存していたが、化学および生物の両

分野の広範囲でかつ多面的な視野から各種実験が可能となり、スクリーニング能力の向上とともに、自社開発剤として除草剤イソキシール、微生物殺虫剤バシレックスが上市でき、これに続く有望な活性物質が選抜できつつある。

今後は農薬のかかえる種々の諸問題に対して科学的コンセンサスが得られるように設備の充実を図りながら、開発研究を積極的に進めていく必要があると痛感している。

(油日ラボラトリーズ 石黒丈雄)

植 調 協 会 だ よ り

◎ 会議開催日程のお知らせ

- ・昭和63年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時：昭和63年12月5日(月)、10:00～17:00

場所：植調会館 3 階会議室

- ・昭和63年度桑園関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時：昭和63年12月7日(水)、13:30～17:00

場所：植調会館 3 階会議室

- ・昭和63年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績中央検討会

日時：昭和63年12月9日(金)、9:30～17:00

場所：植調会館 3 階会議室

- ・昭和63年度水稻関係生育調節剤試験成績中央検討会

日時：昭和63年12月12日(月)～13日(火)、

9:30～17:00

場所：日本都市センター会議室

- ・昭和63年度水稻除草剤・生育調節剤モデル圃場試験成績検討会

日時：昭和63年12月14日(水)、9:30～17:00

場所：日本都市センター会議室

- ・昭和63年度水稻関係除草剤試験成績中央検討会

日時：昭和63年12月15日(木)～16日(金)、

9:30～17:00

場所：植調会館 3 階会議室

- ・昭和63年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時：昭和63年12月20日(火)～21日(水)、

10:00～17:00

場所：薬業健保会館会議室

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都台東区台東1丁目26番6号

電話 東京(03)832-4188(代)

昭和63年11月発行

植調第22巻第8号 定価400円(送料170円)

編集人 日本植物調節剤研究協会会長 吉沢長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)833-1821番(代)